

# ブラジルの福祉における制度化をローカルな文脈から考える —ストリートチルドレン支援の指針とその実施はなぜ乖離するのか—

横田 香穂梨 (津田塾大学国際関係研究所研究員)

キーワード：ストリートチルドレン、ブラジルにおける子どもの権利運動、社会福祉の制度化、ローカル・ガバナンス、2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック

## 報告要旨

1979年の国連による国際児童年の実施と前後して、ストリートチルドレンなど、開発途上国の中でも特にマージナルな子どもたちの存在が国際問題として可視化された。ブラジルでは民主化を求めるうねりの中で、ストリートチルドレンに対する抑圧的な政策に対する国内外の批判とともに、子どもの権利獲得を目指す運動が活発化した。その結果、子どもの包括的権利を保障することが国家や社会の義務として、現行の1988年憲法第227条に盛り込まれ、先進的な青少年・子ども法(1990年)が施行された。

しかしながら、民政移管から30年以上もの時が流れた2016年現在、国連子どもの権利委員会とブラジル政府という、国際的な場とブラジル国内の両方で、改めてストリートチルドレンへの支援政策が議論されている。このこと自体、ストリートチルドレンという対象に適切な政策が立案され、かつ実施されることの困難を物語っているが、ブラジル特有の事情として、民政移管後の子ども福祉の「制度化」全般が抱える課題を検討する必要がある。

報告者は、これまでブラジル北東部のレシフェ市でフィールド調査を実施し、ストリートチルドレンに対する「支援」がどのように発展してきたのかを、主にNGOによる支援活動の共通点と多様性、およびその思想的、歴史的背景に焦点をあてて検討してきた。NGOの活動制約要因、上記の子どもの権利保護に関する国家の責任履行の疎外要因のひとつとして着目したのが、この制度化の問題である。

発表では、この問題をレシフェ市の具体例から検討した。地方自治体やNGOなどによってローカルな現場で行われている支援活動と、全国レベルの政策および国際的な取り組みとの関係に焦点を当てて、法律や制度、政策がローカルな現場で機能しない現状とその要因について考察を行った。また、開幕目前であったリオ五輪と2014年のサッカーワールドカップというリオデジャネイロ市が開催地となった二つの国際的なビッグイベントが、貧困層の子どもたちに与えた影響を指摘し、社会的排除の悪化をムニシピオの差異を超えた普遍的な現象として取り上げつつ、レシフェの特徴を指摘することを試みた。

[主要参考文献]

Avritzer, Leonardo (org.)

2007 *A Participação Social do Nordeste*. Belo Horizonte: Editora UFMG.

Bromling, Clifflyn Marie Alexa

1997 *Images of Street Children: a study on naming and framing social problem at UNICEF*

*BRAZIL, HEADQUARTERS AND EGYPT(Doctoral Thesis, Harvard University, Cambridge, United States)*

日本国際問題研究所

2015 『国際問題』 2015年10月、No.645。

近田亮平編

2013 『躍動するブラジル—新しい変容と挑戦』 アジア経済研究所。

Pilotti, Francisco e Rizzini, Irene(Orgs.)

2009 *A arte de governar crianças: a história das políticas sociais, da legislação e da assistência à infância no Brasil.* 2ª edição revista. São Paulo: Cortez.

Rizzini, Irene

2008 *O Século Perdido: Raízes Históricas das Políticas Públicas para a Infância no Brasil.* 2ª edição revista. São Paulo: Cortez.

Secretaria de Direitos Humanos da Presidência da República

2010 *Direitos Humanos de Crianças e Adolescentes: 20 anos do Estatuto.* Brasília: Secretaria de Direitos Humanos.

UNICEF

2014 *Hidden in Plain Sight: a statistical analysis of violence against children.* New York: UNICEF.([http://files.unicef.org/publications/files/Hidden\\_in\\_plain\\_sight\\_statistical\\_analysis\\_EN\\_3\\_Sept\\_2014.pdf](http://files.unicef.org/publications/files/Hidden_in_plain_sight_statistical_analysis_EN_3_Sept_2014.pdf) 2016年6月15日最終アクセス)

University of Dundee and CIESPI/PUC-RIO

2015 *“Let’s Win This Game Together” Documenting violations of children’s rights around the 2014 FIFA World Cup in Brazil.*

(<http://www.childrenwin.org/wp-content/uploads/2015/06/15337-SoE-Let%20B9s-Win-This-Game-Together-Report-A4.pdf> 2016年6月15日最終アクセス)

横田香穂梨

2013 「研究ノート 『排除』から『包摂』へ？—ブラジルのストリートチルドレン支援の政策動向に関する一考察—」、津田塾大学国際関係研究所『総合研究 No.6 : 国際関係学からみた抑圧・格差・暴力の構造』、148-159頁。

2014 「研究ノート 子どもの権利の『国際標準化』とブラジル—『特別に困難な状況にある子どもたち』の支援の制度化過程を中心に—」『Encontros Lusófonos』第16号、21-29頁。

2014 「ブラジルにおけるNGOの発展—北東部ペルナンブコ州レシフェの民衆参加に着目して—」津田塾大学、IICS Monograph Series、No.23、2014年。